

# 食べて遊んで 国際交流



国籍やことばは異なるが、日本文化を学ぼうとするドゥルゼさん

2月22日追分公民館で安平町国際文化交流センターが主催する「食と遊びの国際交流会」が行われ、道内で研修をしているブラジル、アルゼンチン、ロシアの日系の若者6人と参加者が交流し、調理室ではブラジルの家庭料理やアルゼンチンのお菓子作りに挑戦。遊びのコーナーでは、ゲームを楽しみ民族ダンスなどで汗を流し、屋外では雪だるま作り。食事をしながら、それぞれ自国の紹介をして理解を深め合いました。今回参加したメンバーに、昨年2月にブラジル・サンパウロに雪だるまを送り、温かくもてなしてくれたライラさんとえりかさんの2名も出席していました。



えりかさんのブラジル料理作りを真剣に見つめる



主催者のインタビューを受ける参加者



子どもたちと雪遊びをするアレハンドロさん



さまざまな質問や日本の印象などに答えるライラさん。